

## 平成28年度第9回教育研究評議会議事録

日 時 平成28年12月21日(水) 14:30～16:20 TV会議  
場 所 事務局棟5階大会議室、S-P o r t 3階会議室  
出席者 伊東幸、石井、木村、東郷、前田、丹沢、伊東暁、澤渡、鈴木滋、今野、寺村、菅野、谷、酒井、西原、塩尻、加藤、佐古、河合、鳥山、平岡、原、恒川、三村、澤田の各評議員  
欠席者 中山(川田工学部副学部長代理出席)、朴の各評議員  
陪席者 鈴木庸監事、阿部、青木の各学長補佐

### I 前回議事録の承認について

平成28年度第8回教育研究評議会議事録(案)を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 静岡大学におけるハラスメントの防止等に関する規程の一部改正について

議長から、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律及び育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴う静岡大学におけるハラスメントの防止等に関する規程の一部改正について、資料1により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 2 他の大学等において修得した単位の認定に関する規程、大学以外の教育施設等における学修の単位の認定に関する規程及び入学前の既修得単位等の単位の認定に関する規程の一部改正について

石井委員から、地域創造学環の創設等に伴う他の大学等において修得した単位の認定に関する規程、大学以外の教育施設等における学修の単位の認定に関する規程及び入学前の既修得単位等の単位の認定に関する規程の一部改正について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 3 静岡大学における履修科目の登録単位数の上限に関する規則及び長期にわたる教育課程の履修に関する規程の一部改正について

石井委員から、長期履修学生の計画的な履修計画の立案を促すこと及び適切に単位を修得させる等のため、静岡大学における履修科目の登録単位数の上限に関する規則及び長期にわたる教育課程の履修に関する規程の一部改正について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 4 トウン・フセイン・オン・マレーシア大学(マレーシア)との大学間交流協定及びダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について

鈴木委員から、トウン・フセイン・オン・マレーシア大学(マレーシア)との大学間交流協定及びダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 5 業務改善・事務組織見直し等について

前田委員から、業務改善・事務組織見直し等について、資料5により提案があり、審議の結果、2年程度を目途に静岡キャンパスに合った事務組織の検討を進める旨を記述することで承認した。

(主な質疑応答等)

- 佐古委員から、浜松キャンパス事務組織の再編案は、将来の静岡キャンパス事務組織の再編案の雛形になるのか質問があり、前田委員から、そのように考えているが、浜松キャンパスと静岡キャンパスは地理的事情等が異なるので静岡キャンパスにあった事務組織を検討する必要がある旨、回答があった。
- 佐古委員から、本案に浜松キャンパス事務組織の再編する時期を平成29年4月と記述してあるが、静岡キャンパス事務組織を再編する時期の記載がないので、例えば2年以内に再編すると記述する旨、意見があり、前田委員から、2年以内を目指す記載することが考えられる旨、回答があった。
- 塩尻委員から、静岡キャンパスは各学部が離れているため浜松キャンパスと同様にはできない、また、静岡キャンパス事務組織を再編して学生にとって都合の悪いようにはしないでほしい旨、意見があった。
- 今野委員から、浜松キャンパス事務組織を再編すると静岡キャンパス事務組織を再編しなければならないか質問があり、佐古委員から、浜松キャンパスも静岡キャンパスも事務組織の再編を進め、大学全体の事務の効率化、事務職員の適正配置を進める必要がある旨、発言があった。
- 谷委員から、静岡キャンパス事務組織の一元化は困難である旨、意見があった。
- 河合委員から、浜松キャンパス事務組織の再編の様子をみて、静岡キャンパス事務組織を検討することになるのではないかと意見があった。
- 議長から、静岡キャンパスの一元化は困難であるが、現状よりもよりよくしなければならぬという共通認識があり、早急に検討をする必要がある旨、説明があった。
- 前田委員から、静岡キャンパスの学生生活に関する業務や奨学金業務については一元化できると考えている旨、説明があった。
- 佐古委員から、浜松キャンパスは平成28年度学士課程改革により学生が200人増えるので事務職員を増やすように依頼があった。
- 東郷委員から、事務組織を再編することによって効率化できるような検討を進める必要がある旨、説明があった。
- 塩尻委員から、浜松キャンパス事務部組織図の第3期中期目標・計画中／再編イメージは教育研究に望ましいのか質問があり、前田委員から、あくまでも参考であり、業務別に係編成するとこうなると考えたものである旨、回答があった。
- 原委員から、留学生が増えているので市役所等へ案内する等の受け入れ業務を一つの部署で一元化するように部局内で強い意見があるので検討するよう依頼があり、鈴木委員から、ABPの学部生については一元化している旨、説明があり、議長から、浜松学生支援課留学生係と留学生担当教員の体制を構築する必要がある旨、説明があった。
- 西原委員から、浜松総務課副課長が部局担当で部局の窓口になり、教務業務や学生支援業務は浜松教務課や浜松学生支援課が担当し、円滑に対応できるのか質問があり、前田委員から、例えば浜松キャンパス事務部連絡会議を事務部長のもとで開催し、円滑に業務を実施する必要がある旨、回答があった。
- 佐古委員から、企画総務係の担当業務について質問があり、前田委員から、総合調整を担当し、また、いずれの係にも担当にならない業務等を想定している旨、回答があった。
- 加藤委員から、課長や副課長の兼務はあるのか質問があり、前田委員から、なるべく兼務は避けたい旨、また、課長や副課長を配置できても係の人員が減ってしまうのは好ましくないのでは具体的な配置で検討したい旨、回答があった。

### Ⅲ 報告事項

#### 1 平成28年度第9回企画戦略会議(平成28年12月7日)報告

議長から、平成28年度第9回企画戦略会議(平成28年12月7日)について、資料6により報告があった。

#### 2 学長選考会議における審議状況について

塩尻委員(学長選考会議副議長)から、学長選考会議における審議状況について、資料7により報告があった。

#### 3 「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性に関する法律」の遵守の徹底について

木村委員から、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性に関する法律」の遵守の徹底について、資料8により説明があり、関係する教員には既に通知した旨、報告があった。

議長から、各部局へ注意喚起するように依頼があった。

#### 4 就業規則の一部改正について

前田委員から、就業規則の一部改正について、資料9により報告があった。

#### 5 平成28年度年度計画の第1回中間点検及び後学期の重点事項について

伊東暁委員から、平成28年度年度計画の第1回中間点検及び後学期の重点事項について、資料10により説明があり、平成28年12月14日に通知した進捗管理システムへの進捗状況の入力について、遺漏なく取り組むように依頼があった。

#### 6 ガジャマダ大学バイオテクノロジー研究センター(インドネシア共和国)との研究協力に関する覚書の締結について

鈴木委員から、ガジャマダ大学バイオテクノロジー研究センター(インドネシア共和国)との研究協力に関する覚書の締結について、資料11により報告があった。

#### 7 第3回インターアカデミア・アジア(アジア地域の協定校との国際会議)の開催について

鈴木委員から、第3回インターアカデミア・アジア(アジア地域の協定校との国際会議)の開催について、資料12により報告があった。

#### 8 平成28年度静岡大学学位記授与式及び平成29年度静岡大学入学式について

議長から、平成28年度静岡大学学位記授与式及び平成29年度静岡大学入学式について、資料13により説明があり、入学式の特別講演者について、人文社会科学部、理学部、教育学部の順番の実績を踏まえ、次回は工学部又は農学部から選出できるように検討依頼があった。

議長から、浜松キャンパス学位記授与式の会場について、アクトシティ浜松に優先予約できるように働きかけて、平成30年3月の学位記授与式から一般予約よりも早期に優先予約できるようになる旨、説明があった。

## 9 教員採用等報告について

議長から、教員採用等報告について、資料14により報告があった。

## 10 平成27年度決算検査報告説明会について

前田委員から、平成27年度決算検査報告説明会について、資料15により報告があった。

## IV その他

### 1 情報セキュリティ・個人情報保護WEBセミナーの受講状況について

東郷委員から、情報セキュリティ・個人情報保護WEBセミナーの受講状況について、資料16により説明があり、教職員及び学生に受講を促すように依頼があった。

### 2 その他

○澤渡委員から、平成29年1月17日に開催される広域関東圏女性起業家サポートネットワーク主催による女性起業家を目指すためのシンポジウムについて、席上配布資料により案内があった。

○佐古委員から、人工衛星「はごろも」が平成28年12月19日に宇宙へ放出され、平成28年12月20日にモールス信号を受信した等の状況説明があった。

以上